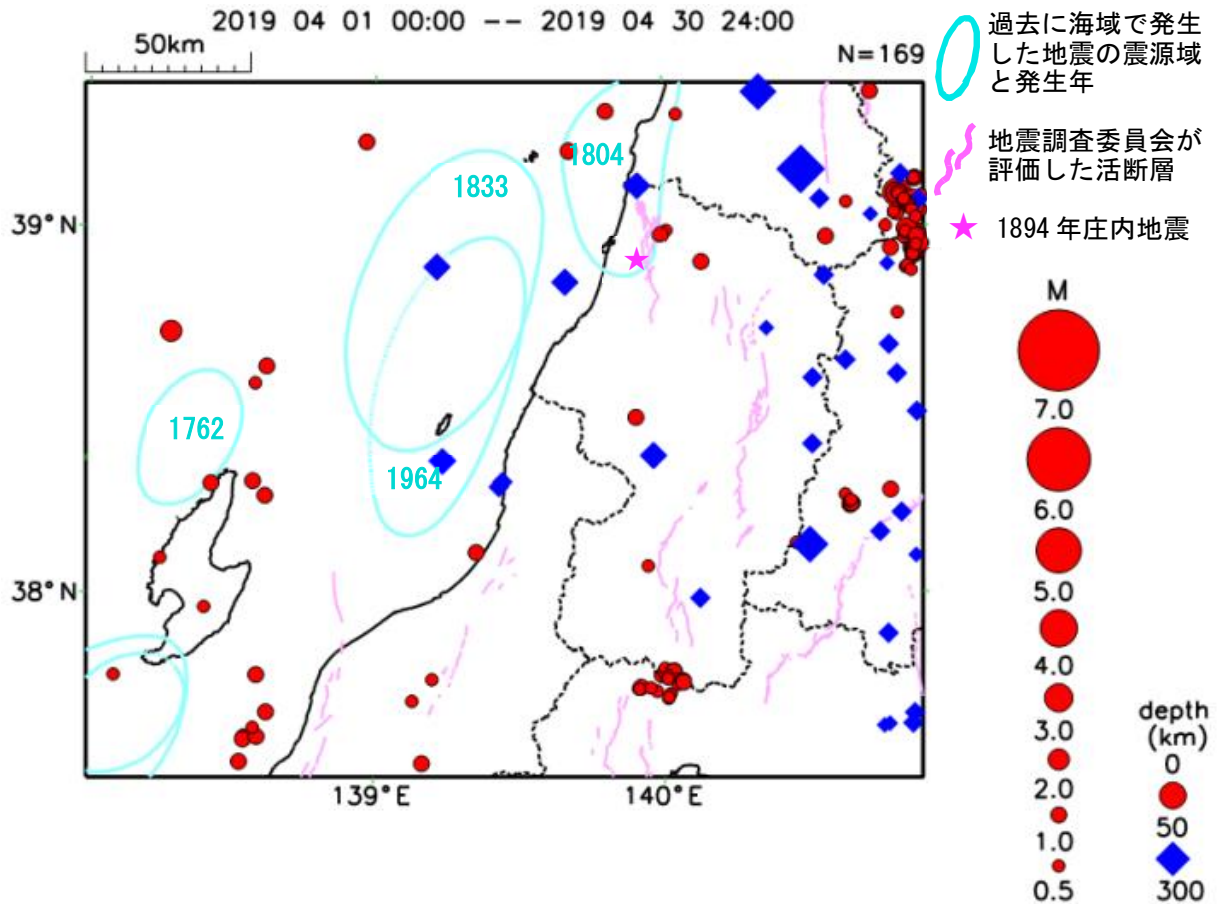


山形県月間地震概況（2019年4月）

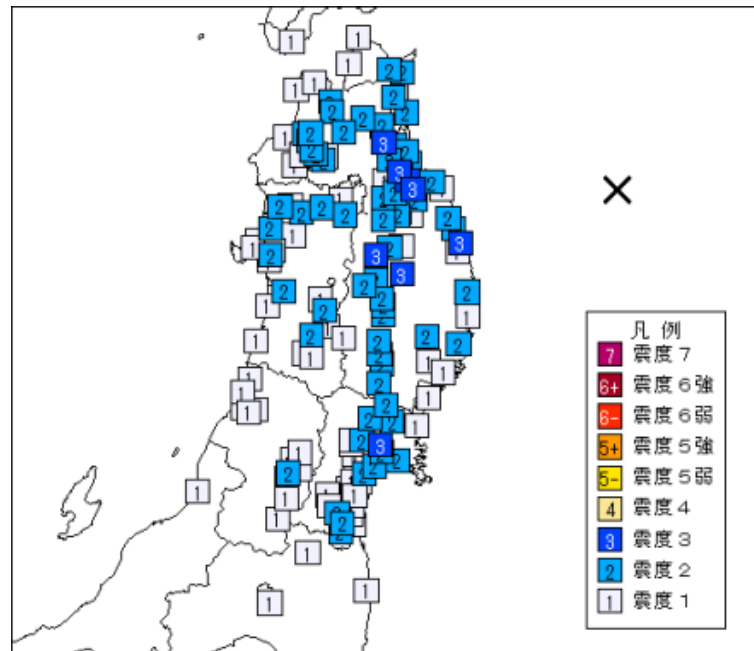
山形地方気象台



【概況】

この期間、山形県とその周辺（上図の範囲内）で観測した地震は169回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は2回（前期間4回）であった。

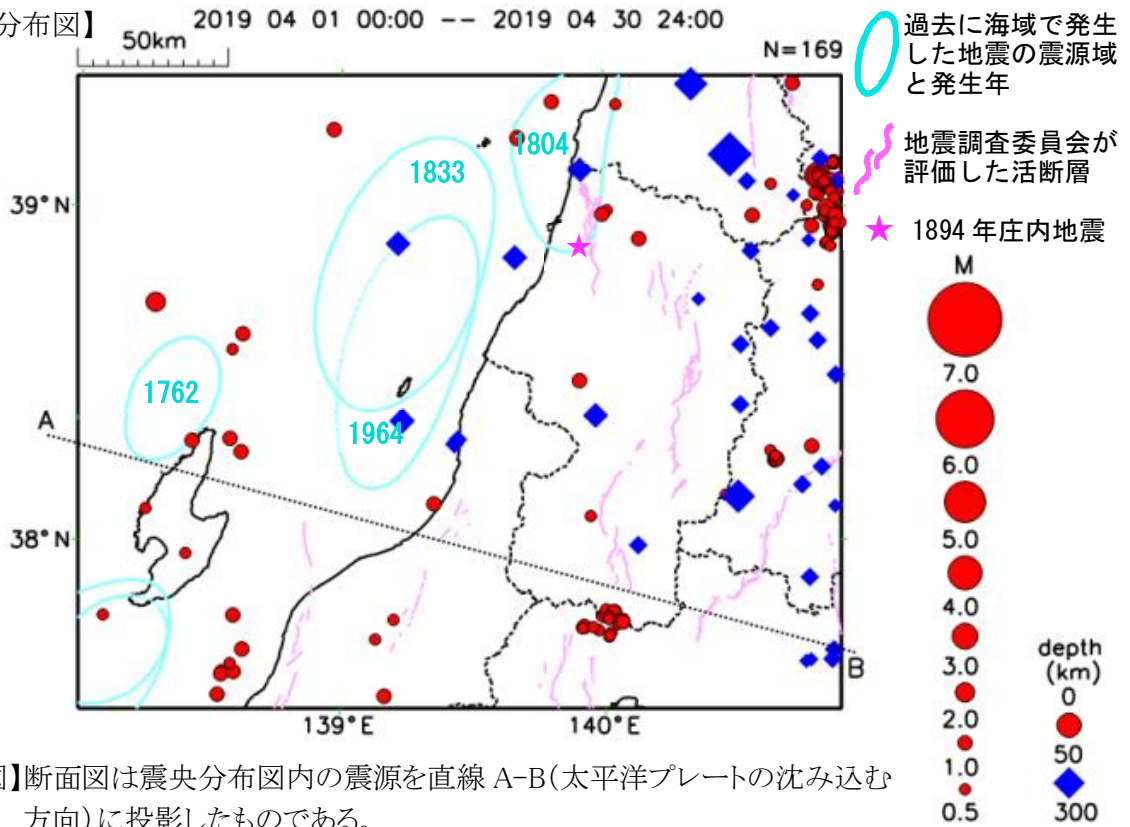
11日17時18分に三陸沖の深さ5kmでM6.2の地震（右図）が発生し、北海道と東北地方、新潟県で震度3～1を観測した。県内では、中山町で震度2を観測したほか、村山、置賜、庄内で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。



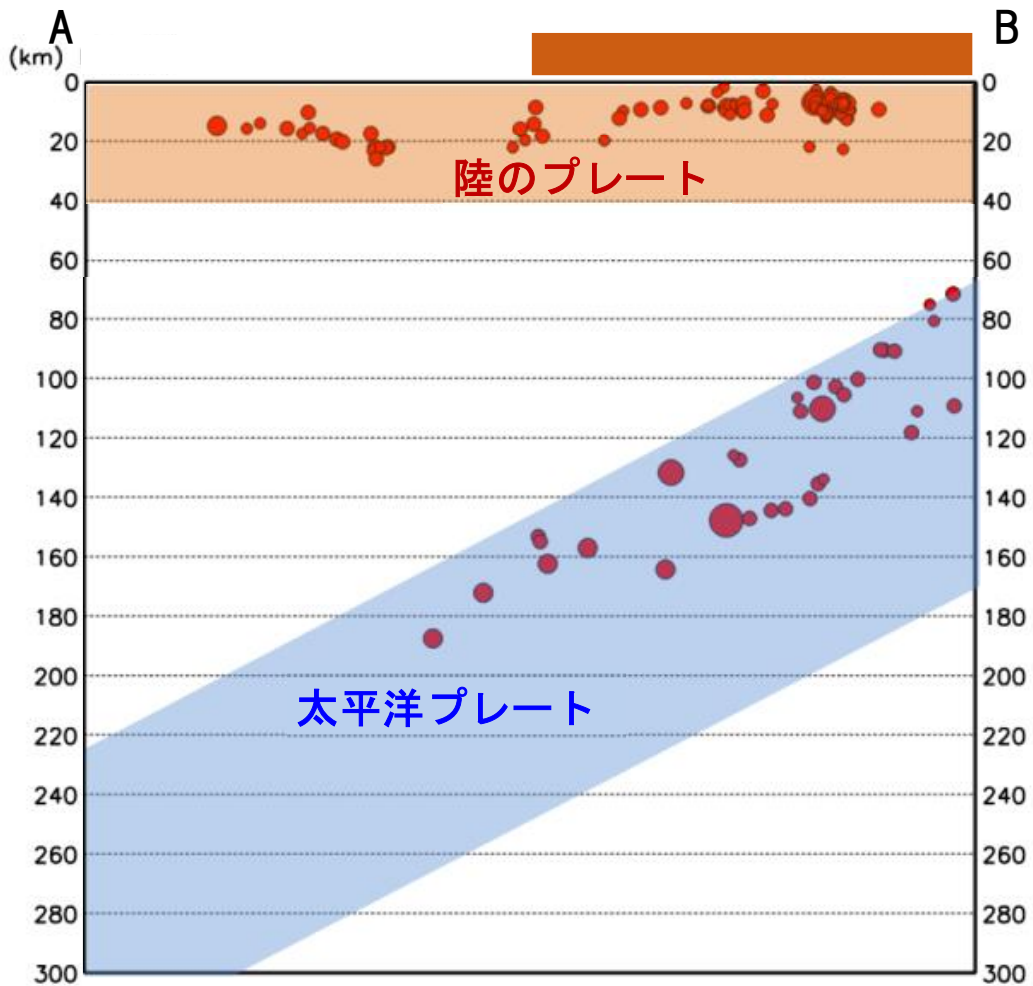
※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2019年4月1日～2019年4月30日

| 発震時 | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ | 規模 |
|-------------------|---|-------------|--------------|------|------|
| 各地の震度 | | | | | |
| 2019年04月11日17時18分 | 三陸沖 | 40° 21.7' N | 143° 24.2' E | 5km | M6.2 |
| 山形県 | 震度 2 : 中山町長崎* | | | | |
| | 震度 1 : 鶴岡市藤島* 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 三川町横山* 遊佐町遊佐 庄内町狩川* 庄内町余目* 上山市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 山辺町緑ヶ丘* 河北町谷地 河北町役場* 高島町高島* | | | | |
| 2019年04月25日21時00分 | 宮城県沖 | 38° 32.3' N | 141° 34.2' E | 63km | M4.3 |
| 山形県 | 震度 1 : 天童市老野森* 東根市中央* 河北町谷地 | | | | |

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

6月18日(火)は、 緊急地震速報の訓練に参加しましょう。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒とごくわずかです。その短い時間内であわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには、日頃からの訓練が重要です。

消防庁及び気象庁は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を介して緊急地震速報（訓練用）を配信します。

各自治体・各機関では、この機会を利用して、身体防護や避難行動を伴う地域住民参加型の「実践的な訓練」の実施が計画されます。

地域住民の皆様におかれましては、お住まいの市町村等からの訓練のお知らせをご確認いただくとともに、積極的に訓練にご参加ください。なお、今回は訓練が実施されない地域にお住まいの場合でも、山形地方気象台では出前講座等により、緊急地震速報の特性や利活用方法の説明等が可能ですので、是非ご相談ください。

1. 訓練実施日時

1回目 令和元年 6月18日(火) 10時00分頃

2回目 令和元年11月 5日(火) 10時00分頃

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の発表を中止します。

2. 訓練で使用する緊急地震速報について

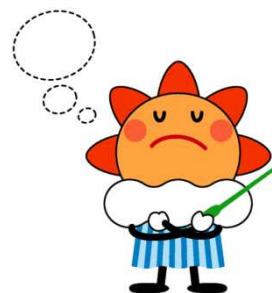
※6月18日の訓練において、**緊急地震速報（訓練用）は全国瞬時警報システム（Jアラート）による配信のみとなります。**緊急地震速報配信事業者からの配信はありませんので、緊急地震速報受信端末、携帯電話（緊急速報メール/エリアメール）、テレビ、ラジオからは報知はされません。11月5日の2回目の訓練では、緊急地震速報配信事業者からの配信も予定しています。

※今回の訓練で発表する緊急地震速報の詳細（震源、地震規模等）は、気象庁ホームページでお知らせする予定ですので、ご確認ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/index.html>

思いがけなく起こるからこそ災害です。大地震に直面したとき、大抵の人は冷静に考えて行動できません。

だからこそ、そのときにどういう行動をとるのかを常にイメージし、繰り返し訓練しておくことが大切です。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん